

# 雪印メグミルク株式会社の事業適応計画のポイント

- 雪印メグミルクグループでは、地球温暖化防止や気候変動などの社会課題に対応するため、CSR重要課題として環境関連の目標(KPI)を設定しています。
- 「環境負荷の低減」として、2021年7月に、2030年度までのCO<sub>2</sub>排出量の削減目標を2013年度比30%から50%に引き上げ、脱炭素の更なる推進を図っています。

## 〈事業適応計画の概要〉

### 1. 事業適応計画の実施時期

2022年10月～2025年3月

### 2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

大樹工場の炭素生産性を48.4%向上することを目標とします。

### 3. 前向きな取り組みの内容

#### ① LNGガスボイラ更新

エネルギー効率と環境負荷の低減を実現するLNGボイラへ更新し、炭素生産性を向上させます。

#### ② ホエイのメタン発酵設備導入

ナチュラルチーズの製造により生成される副産物のホエイをメタン発酵処理し、エネルギー利用することで、炭素生産性を向上させます。

### 4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

## 〈大樹工場全景〉



## 〈大樹工場で製造する主な製品〉

